

科目ナンバー： MC0022

授業コード： 6630990300

講義科目名称： 専門分野別課題研究(老年CNS)

英文科目名称： Research of Gerontological Nursing

|            |     |     |           |
|------------|-----|-----|-----------|
| 開講期間       | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分    |
| 通年         | 2年  | 2単位 | 老年看護CNS必修 |
| 担当教員       |     |     |           |
| ◎小長谷百絵、原等子 |     |     |           |
| 添付ファイル     |     |     |           |

|      |                                  |                        |                     |  |
|------|----------------------------------|------------------------|---------------------|--|
| 授業種類 | 【開講】<br>通年                       | 【授業時間】<br>60           |                     |  |
|      | 【担当教員】<br>【氏名】<br>◎小長谷百絵<br>原 等子 | 【所属】<br>新潟県立看護大学<br>同上 | 【研究室】<br>213<br>303 | 【メールアドレス】<br>konagaya@niigata-cn.ac.jp<br>naohara@niigata-cn.ac.jp |
|      | 【大学の科目区分】<br>専門分野                |                        |                     |  |
|      |                                  | 【DP1】                  | 【DP2】               | 【DP3】  |
|      | 研究<br>CNS<br>助産                  | ○                      | ○                   | ○  |
|      |                                  |                        |                     | ◎  |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 到達目標            | 高齢者を対象にした看護実践現場における関心課題の分析に基づいて、一連の研究プロセスを踏み、老年看護CNSの課題研究として論文作成し、発表できる。  |
| 授業概要            | 老年看護に寄与する課題設定のもと、研究計画を立案して倫理審査を受け、計画に基づく研究活動（データの収集・分析、論文作成、研究成果の発表）を通じて一連の研究プロセスを修得する。   |
| 授業計画            | <p>授業内容<br/>           授業形態：演習<br/>           学修課題：1年次の老年看護学特別演習Ⅲ、2年次の専門分野別課題研究等の学修を通じて、設定した研究課題について、一連の研究プロセスを踏む。<br/>           学修内容：①研究計画書の作成<br/>                     ⇒ 研究計画書の審査を受ける<br/>                     ⇒ 倫理審査を受ける<br/>                     ②計画案に基づいて研究活動の実施<br/>                     ・データ収集<br/>                     ・分析<br/>                     ・結果の整理<br/>                     ・論文作成（⇒提出）<br/>                     ⇒審査を受ける（必要に応じて修正）<br/>                     ・発表<br/>                     ⇒製本論文の提出<br/>           事前学修：既習の講義を振り返り各自の看護実践上の課題や関心を明らかにする<br/>           事後学修：ゼミ内での課題に応じて新たな文献を精読する<br/>           備考：小長谷 原</p> |
| 事前・事後学習         | 事前学修：既習の講義を振り返り各自の看護実践上の課題や関心を明らかにする<br>事後学修：ゼミ内での課題に応じて新たな文献を精読する  |
| 評価方法、評価基準       | 到達目標に対して、研究活動の主体的取組み状況：50%，作成論文の適切性：50%   |
| テキスト            | 最新の論文や文献を使用するため現時点では指定せず授業内で案内する。   |
| 参考図書・資料等        | *授業科目「看護学研究方法」で用いた参考書・資料<br>*その他、授業の中で随時紹介する。   |
| 受講、課題、資料配布等のルール | ・毎回、明示する次回授業までの課題について、授業日の2日前までに教員に提出（メール添付でもOK）<br>*詳細は初回開講時にガイダンスする。  |
| 教員からのメッセージ      | 老年看護CNSとして、老年看護の実践現場における課題分析に基づく研究活動を通じて、実践現場の質向上を図ることが求められています。したがって、一連の研究プロセスを理解し、実践現場の課題の研究的取組みに先導的役割を果たせるようになることを期待しています。   |
| オフィスアワー         | 随時（メール調整）   |